

# 平成16年第15回教育委員会記録

平成16年10月13日(水)

杉並区教育委員会

## 教育委員会記録

日 時 平成16年10月13日(水)午後2時00分～午後2時28分  
場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 丸田 頼一 委員 長 安本 ゆみ  
職務代理者  
委員 宮坂 公夫 委員 大藏 雄之助  
教育長 納富 善朗

欠席委員 (なし)

出席説明員 事務局次長 佐藤 博 継  
学校適正配置担当部長 上原 和義 庶務課長 和田 義広  
学校運営課長 馬場 誠一 学務課長 井口 順司  
学校適正配置担当課長 吉田 順之 指導室長 松岡 敬明  
社会教育課長 武笠 茂 中央図書館長 倉田 征壽  
入スポーツ課長  
中央図書館次長 清水 文男

事務局職員 庶務係長 小今井 七洋 法規担当係長 石井 康宏  
担当書記 佐藤 守

傍聴者数 8 名

### 会議に付した事件

#### (報告事項)

- (1) 学校希望制度の申請状況について
- (2) 南伊豆健康学園について
- (3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧

## 目 次

会議録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 報告事項

(1) 学校希望制度の申請状況について・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(2) 南伊豆健康学園について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧・・・・・・・・ 7

**委員長** ただいまから第15回の教育委員会定例会を開催いたします。

皆様方、お忙しいところをありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。議事録の署名委員は、安本委員をお願いいたします。本日の議事日程は、ご案内しましたとおり、報告が3件となっております。

早速ですが、日程第1、報告事項の聴取に入ります。最初に「学校希望制度の申請状況について」、2番目に「南伊豆健康学園について」、2件を一括して学務課長から説明をお願いします。

**学務課長** 初めに「学校希望制度の申請状況について」、こちらは資料を用意しましたので、ご覧ください。この学校希望制度については、本区においては、平成17年度新入学において4回目を迎えるという状況です。そういう中で、各校の受入れ枠もございまして、通常40名までを定員として受け入れているところですが、今年度については、浜田山小学校と高井戸中学校については、30名という受入れ枠、桃井第一小学校と井荻中学校、それから杉並第一小学校については、20名という定員枠の中で、この希望申請を受け付けるという形にさせていただきました。

先週の10月4日が申請締切日でしたが、それまでに出てきた募集の結果がまとまりました。それが今日、この一覧になっているところです。全体的なところを申しますと、資料の右側の小さい枠に小学校、中学校それぞれの全体の数字が出されていますが、ご覧いただいてもおわかりのように、小学校においては、平成17年度新入学で全体の子ども数のうち、19.9%が希望申請をしているということで、この4年間継続して、希望申請される方が伸びてきているところです。

また中学校についても、同じく平成14年度に15.2%でしたが、平成17年度新入学については21.7%ということで、同じく伸びてきています。こうした中で、小中合わせましても、20.8%ということで、4回目になって、初めて小中合わせて、20%の大台を超えるまでに至ったという状況です。各学校の細目について触れますと、左側の資料で網かけをしているのが、定員を超える数の申請があった学校です。上から申しますと、小学校では、桃井第二小学校、浜田山小学校、和泉小学校、中学校のほうでは、阿佐ヶ谷中学校、天沼中学校、井荻中学校、荻窪中学校、高井戸中学校、以上の学校が定員を超えるということです。

これは昨年度もありましたが、40名を数名程度超える範囲については、事前に学校のほうとも協議をしまして、受入れ可能であるということで、これについては受入れをすることになりました。その上で、40名なり定員枠を大きく超える学校については、抽選をするということで、資料の右側に、抽選実施校ということで書いています。浜田山小学校、阿佐ヶ谷中学校、井荻中学校、荻窪中学校、高井戸中学校、以上の小学校1校、中学校4校については、抽選をさせていただくという形にいたしました。この抽選については、来週の10月18日(月)に行うことにしています。

増加のほうで今回の特徴としては、1つは和泉小学校が40名を超えたというのが、今回の1つの特徴かと思います。こちらについては、例えば校庭の芝生化ですとか、様々な取組みのあった中で、希望申請が増えてきたという傾向があります。もう1つは、こちらも40名を超えていませんが、和田中学校については、この間、これは資料には出ていませんが、平成14年度当初が29名減だったのが、平成15年度36名減、昨年が3名の減だったのですが、今年度については増減差引きで34名増になりました。これも例えば、民間人校長の登用とか、そういった成果が現れているのではないかと受け止めています。

逆に希望申請によって、出が多かった学校ですが、こちらについては、小学校では高井戸小学校の増減差引きで34名の減、中学校では、東田中学校が87名の減、中瀬中学校が64名の減、井草中学校が112名の減といったところが大きな減少となっています。高井戸小学校については、今年度に入って、校舎の改築という話が出てまいりました。改築中の校舎の状況等を勘案して、他校への希望を出した、そういうものが多いのではないかとといった分析をしています。

特に中学校のほうで大きいのが、井草中学校で112名減というのがあります。こちらについては、荻窪中学校に67名、井荻中学校に45名といった希望申請を出しています。この背景について、特に学区の桃井第四小学校にも確認したのですが、この間の部活動等の状況とか、以前の風評ですとか、そんなところも影響して、このような結果が出たのではないかと、そんな話を聞いています。5番目の東田中学校については、この87名中、40名が阿佐ヶ谷中学校を希望しています。中瀬中学校については差引き64名ですが、このうち井荻中学校が30名、天沼中が29名といった状況です。増が多い所と減が多い所と、かなり学校間の増減の構図が指摘できようかと思っています。

もう1点ご報告しますが、学校適正配置に絡んでのお話です。前回の教育委員会において学校の統合についてのたたき台を当委員会で決定いたしました。その後、私どものほうでは、直ちに該当校が学区とされている方、あるいは該当校に希望できる方、全保護者宛にこういうたたき台としてのお話が出ているといったところをお知らせしました。この資料をご覧いただくとおわかりのように、そのことよっての大きな減少というのは見られませんでした。上から申しますと、例えば、杉並第五小学校の状況、あるいは若杉小学校の状況、中学校のほうでは、神明中学校の状況をご覧いただいてもおわかりかと思いますが、この適正配置の学校の統合のたたき台を発表した中では、そうしたことよっての大きな減少といった流れは、起こらなかったと受け止めています。学校希望制度の申請状況については、以上でございます。

続いて、南伊豆健康学園についてご報告をいたします。こちらは資料は用意しておりません。口頭でご報告することといたします。南伊豆健康学園については、第2次行財政改革実施プラン

において「虚弱児童の教育施設としては廃止の方向とし、廃止後の教育施設としての活用方策を検討したうえで、改めて方針を決定し、見直しを図る」とされています。こうした中で、昨年10月22日の教育委員会において、廃止後の施設利用について、なお検討を要することから、平成16年度の学園運営を継続する一方で、引き続き検討することとさせていただきました。

その後、特区提案をはじめ、武蔵野市が実施しているセカンドスクールとしての活用、現行制度の範囲内における通常学級としての学園設置など、様々な活用方策を検討してきましたが、成案となるような案が見いだせるまでには至らず、今日に至っております。特に、特区提案については、新しいタイプの全寮制学校の設置ということを2次から4次まで提案してきましたが認められず、実現までには、なお時間を要することから、既存の法制度の中で検討するという考えのもとで、第5次提案については、見送らせていただいているところです。また経費の面でも、現在国や都の負担により、約3億円の運営経費のうち、8,000万円程度の区の持ち出しが、義務教育の範囲外の学校運営となると、すべて区の持ち出しになってしまうという点も、成案として出せない大きな理由になっています。

平成17年度に健康学園運営を継続するとした場合の募集時期も迫ってきましたので、平成17年度については、健康学園運営を継続することとし、入園募集の手続を進めることとしたいと存じます。

今後については、第3次行財政改革実施プランの改定素案においても、行革課題として取り上げているところですが、海風にさらされながらの築後30年を超えている建物の今後の使用可能期間なども明らかにしたうえで、引き続き検討し、平成17年秋を目途に一定の考えをまとめてまいりたいと存じます。前年に引き続いての課題の積み残しになりますが、ただいま申しましたような状況ですので、ご理解いただければと存じます。私からの報告は以上でございます。

**委員長** それでは、最初に「学校希望制度の申請状況について」、ご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。

**安本委員** 神明中学校なのですが、区域の中に小学校はないというふうに、たしか、そう聞いているのですが、お知らせはどうなっていますか。

**学務課長** 神明中学校が学区域となっている区域の方と、それから、そこに申請できる小学校6年生の方には全部出しています。

**安本委員** いつごろ出したのですか。

**学務課長** 9月21日、当委員会が終わった後、すぐ出しました。

**安本委員** 数字を見ると、もともと伝統校ですし、評判もいいということで、去年、一昨年もかなりの数字で入りがあったのですが、今年はびっくりするほど減ると私は思っていました。入りが

33名で、出も30名あるということで、これはそういう影響があったかとは思いますが、33名入りがあるということは、ずいぶん評判のいい学校なんですね。

**学務課長** 今回33名が増えているというところで申しますと、大きくは宮前中から11名、それから荻窪中学校から9名、井荻中、松溪中から5名といった状況があります。この増えている背景等については、当該中学校の校長にも聞いてみたのですが、校長としても、なかなか要素はつかみきれないということでした。ただ、周辺校の事情もありますし、例えば、そのほかにも通学に近いとか、そういうことも含めてですが、様々な要素があって、特にこれといった大きな理由はない中で、結果的には希望される方が33名いらっしゃるという状況でございます。

**委員長** ほかにございますか。

**宮坂委員** 希望している33名は、希望を出す時点では、神明中学校が1つの統廃合の候補になっているというのは知ってはいるのですか。

**学務課長** 9月21日にお知らせしました。それで10月4日期限という中で、あまねく通知を差し上げているので、ご理解された上で申請いただいているものと存じます。

**委員長** 平成15年度と16年度は、ここに書いてありますように各年度の申請締切日現在ですが、平成17年度は何日現在とか、そういう意味ではないのですね。

**学務課長** 10月4日に締めまして、その後の着も含めて募集期限までに出たものをすべて含めて、この数だということでございます。

**委員長** ここに記述されているとおりでいいのですね。

**学務課長** はい。

**委員長** 数で見ますと、井草中学校の出がものすごいですね。これに対し、その学校のいろいろなご意見とかは集められているのですか。

**学務課長** 井草中学校の状況としましては更に詳しく申しますと、荻窪中学校に希望されているのが67名、井荻中が45名という状況です。小学校も調べてみたのですが、桃井第四小学校から荻窪中学校に希望されている方、これは井草中学校でありながら、荻窪中学校を希望されている方が57名と、特に大きくあります。昨年もやはり井草中学校の出が多かったのですが、それについては、どちらかという、井荻中学校に流れる方が多くございました。荻窪中学校に今回希望される方が多いというのが大きな特徴でして、それについては、小学校に聞いた中ではクラブ活動の状況、それからかなり前の風評という話なのですが、そういったことが影響したのかもしれないといった話を聞いているところです。

**委員長** ほかにございますか。よろしいですか。

(「なし」の声)

**委員長** 次に「南伊豆健康学園について」、ご質問、ご意見はございますか。

**宮坂委員** 南伊豆健康学園については、再来年以降は、いまの段階では未定と考えてよろしいのですね。

**学務課長** そのとおりです。

**委員長** ご意見はございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声)

**委員長** 2件についてはご報告を聴取いたしました。続きまして、「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧」の説明を社会教育スポーツ課長からお願いします。

**社会教育スポーツ課長** 私のほうから、杉並区教育委員会共催・後援名義の9月分の報告をいたします。この9月分の件数の中には、8月以前に承認された5件、要するに漏れがあったのですが、その件数が含まれています。定例が35件、新規が5件。共催・後援の別で言いますと、共催7件、後援が33件。9月分としまして、40件ということです。

新規のものについて、若干ご説明します。1ページ、社会教育スポーツ課関係では新規後援については、1、日本ボーイスカウト東京連盟杉並第9団が行う「すぎ9フェスタ」。5ページ、学務課の新規後援、1がプランニング 遊が行う「どうしてる幼稚園？聞いて・話して交流会」。もう1つが、南伊豆健康学園保護者会が行う「南伊豆健康学園30周年記念ワークショップ」ということです。

6ページ、中央図書館で行う新規後援 1については、東京都書店商業組合杉並支部が行う「子供に良い本を」展示会、2がいおぎ土曜クラブ子どもの本のつどい in いおぎ実行委員会が行う「子どもの本のつどい in いおぎ」ということになっています。簡単ですが、私からは以上です。

**委員長** ご質問、ご意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(「なし」の声)

**委員長** 特にご意見、ご質問等ございませんようですので、本日の報告事項の聴取は、これで終わりにいたします。

**庶務課長** 次回の日程ですが、10月27日(水)午後2時から開催させていただきますので、よろしく願いいたします。以上です。

**委員長** では、ご予定のほど、よろしく願いいたします。本日の会議はこれで閉会します。どうもありがとうございました。